

2022年5月31日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社匠建コーポレーション様の『SDGs宣言』策定を支援しました！

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGsへの取り組みを支援するため「SDGs宣言サポート」を提供しています。今般、株式会社匠建コーポレーション様(北海道札幌市、代表取締役 中原忠志様)が本サポートを利用し『SDGs宣言』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

1.会社概要

会社名	株式会社 匠建コーポレーション
所在地	札幌市東区北45条東5丁目5番16号
代表者	代表取締役 中原 忠志
業種	建設業

2.重点項目



※SDGs宣言の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。



株式会社 匠建コーポレーション SDGs宣言

2023年5月31日
株式会社 匠建コーポレーション
代表取締役 中原 忠志

SDGsの達成に向けた取組

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

3世代先まで『安心』できる生活の礎

社名にある“匠”の文字を大切に。

確かな技術と知識で、その時代に合ったより良いものを提案し、暖かく末永く満足していただける安心・安全な住宅を提供してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・省エネ性能に優れた設備・窓・照明等を標準採用
- ・断熱等性能等級5をクリア、一次エネルギー消費量等級6をクリア
- ・ベテラン職人による若手人材育成による技術継承
- ・制震ダンパーを標準採用し、大地震による倒壊を低減
- ・オリジナル床暖房によりヒートショックを抑制
- ・思いどおりの自由設計で将来を見据えた間取りをご提案



地域社会との『共生』と発展の礎

雪国特有の技術や知識を教わった地域への感謝を忘れずに。

環境に配慮した事業活動と地域活性化を心掛け、地域の豊かな生活に貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・経験豊富な地元事業者への積極的発注
- ・ソーラーパネルや発電機能付暖房など幅広いエコ商品の提案
- ・建築木材の一部に地域材を活用
- ・在庫管理による3Rを徹底、廃棄物の細やかな分別
- ・精密な建築計画による木材の無駄削減
- ・地域人材の積極的な採用



『正直に、まっすぐに』が信頼の礎

コンプライアンスを徹底し、家づくりの基本に忠実に。

嘘偽りの無い正直でまっすぐな気持ちを持ち続け、お客様の住まいを担う一生涯のパートナーとして心から信頼していただけるよう、より一層努めてまいります。

【具体的な取り組み】

- ・コンプライアンスの相談窓口の設置
- ・第三者による建築物の施工検査や性能検査の実施
- ・事故、不祥事の報告義務と透明化
- ・お客様の声を反映するアンケートチームの結成
- ・定期的な施工方法検討会の実施
- ・事業継続計画（BCP）の策定



社員の『笑顔』がサービス向上の礎

誰もが活躍し、働き甲斐のある職場環境を整え、社員全員が仕事への誇りを持って。

所属を超えた横断的で多様なチームワークの構築、「営業・現場・設計・事務」が一体となった組織運営により、社員全員がお客様と真剣に向き合う会社を目指してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・性別を問わない人材育成、技術指導
- ・定期健康診断の実施および受診状況の管理
- ・ハラスメントの相談窓口の設置
- ・お客様へのサービス向上に関する社員の提案を積極採用
- ・長時間労働は正のための労働生産性の改善



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。